

## 1.大会実施報告

平成 22 年 6 月 26 日(土)～平成 22 年 6 月 27 日(日)の2日間、福島県いわき市スパリゾートハワイアンズを会場に、日本テレワーク学会第12回研究発表大会(いわき開催)が開催されました。約60人の会員・非会員が初日の研究発表や夕食懇親会、2日目のシンポジウム、総会等プログラムに参加しました。さらに、大会終了後のオプション企画(現地事務局・いわきテレワークセンター視察・交流会)にも約14人が参加しました。

今回は地方開催ということで、いわき市の映画「フラガール」誕生の舞台となったスパリゾートハワイアンズがメイン会場となりました。梅雨の合間の晴天の中、東京駅、新宿駅等から無料バスで約2.5時間～3時間。館内は30度以上のハワイモードで、雰囲気は常夏の島風です。「ここは日本一の露天風呂のある国内有数の大規模レジャー施設です。館内に点在する多様かつ多彩なお風呂を楽しんで御帰りください。」ホテル側の案内も空しく聞こえるほど、楽しむ余裕など1分もない厳しい日程でしたが、どの研究発表も大勢の参加者で非常に活発でした。2日間無事終了することができたのは、役員の皆様、参加者の皆様のご理解と暖かい励ましがあったからです。紙面をおかりしてあらためて、心よりお礼申し上げます。

さて、2010年の今大会では、あらためて地域のテレワークを考えるという観点から「地域未来とテレワーク」を統一テーマにさせていただきました。地域を拠点とする企業や個人のテレワーク行動は、大都市の競争社会に代表されるファストな価値観と結びついたテレワークとはやや趣が異なるかもしれません。

そこで、シンポジウムでは、テレワーク推進に関心をもっている地元企業に参加してほしいのですが、皆無の状況であるため、今後の地域テレワークの推進役になっていただける方々をパネリストとしてご登壇いただきました。新たな産業づくりと人づくりを推進している川口さん(いわき市産学官ネットワーク協会事務局長)、会津を拠点に全国規模で地域再生のキーマンをネットワークしている本田さん(会津ルネッサンス代表)、東京を拠点にテレワークを推進している藤倉さん(地域協働推進機構代表)、久保さん(SOHOシンクタンク代表)など。また東北女性経営者の代表で女性起業家の草分け的存在である三田さん(企画室・コア代表)にもご同席いただき、インターネットの事業の仕組み、お金の流れに関する鋭い質問をしていただきました。ファシリテーターの大西先生(学会顧問)が素晴らしい采配で進めていただいたことから、地域を拠点したテレワークネットワークの進むべき方向性やヒントを得ることができたと思います。会場の皆様からもテレワークの未来を考える良い内容であったとご意見をいただきました。

尚、スパリゾートの坂本様からウエルカムスピーチをいただきました。「地域との共存を大事に、大衆のためのリゾートを追求してきました。これからも労働者のための憩いの場、癒しの場を提供していくつもりです」と話されていました。いわき市の年間観光交流人口は約1000万人強です。ここ数年多くの観光スポットが落ち込んでいる中、スパリゾートは年間185万人(県外VS県内7:3)を維持しています。集客力など素晴らしいと思う反面、宿泊するシングルルームにバス(風呂)もシャワーもない(宿泊当日になって発覚する)状況に正直驚きました。迷路の館内には案内サインも少なく、老婆心ながら「このようなおもてなしで良いのだろうか」

と心配になりました。女性参加者の皆様には個別にお詫びしながら旅館を移っていただき、事なきをえたのですが、本当にご不便をおかけしたと考えておりますが、ホテル側の常識は「バスなし」だということもわかりました。今やソロトラベルが注目され、従来の旅行形態とはだいぶ様相が変わってきていますが、地域の大型レジャー施設の在り方について率直に考えさせられました。人口約35万人も確実に減少し、労働人口に対する完全失業率も7%を超えています。どんどん地域活力は減退しているわけですが、企業活力の原動力、あるいは重要な経営戦略として、テレワークへの認識が高まればと良いと思いました。テレワークの重要性は危機感を抱いた時に始まるといえますので、この地元のトップランナー企業スパリゾートが率先してテレワークを実践してくれれば、大変に影響力もあります。

今回の大会を契機に、地元が少しでもテレワークに着目し、テレワークを軸に相互理解と交流を促進してくれることを期待したいと思います。またそのような動きを強く働きかけていきたいと実感しました。

以上簡単なお報告で恐縮ですが、全プログラムを通じて、「柔軟な働き方＝女性活用」や在宅勤務の導入可能性など、地域でテレワークが浸透するヒントを得ることができた大会だったと思います。今後も継続して地域とテレワークの議論を重ねていきたいと思いますので、会員の皆様、どうぞ暖かいご指導を宜しくお願い申し上げます。(会田和子記)